

ジブチ月例報告 (2024年3月)

在ジブチ日本国大使館

【内政】

- 3月3日、国民議会の2024年第1回通常会期が開会し、ディレイタ国民議会議長は「2024年3月の新国民議会は、最新の交流と市民との緊密な協力に基づき、明確なロードマップをもって開催される」との宣言を行った。
- 3月4日、ゲレ大統領は、結成45周年を迎えた与党「進歩のための人民連合 (Rassemblement Populaire pour le Progrès:RPP) の祝賀行事を人民宮殿の講堂で開催。
- 3月7日、アブドゥルカデル首相は、ナギブ首相府次官、ムスタファ国民教育・職業訓練大臣、モハメド商業・観光大臣、イスマン予算大臣らはじめとする政府高官及びジブチ市選出の国民議会議員らを伴いアリ・サビエを訪問。大理石工場や小学校、同地のランドマークとなっている山の斜面に描かれた国章の改修作業を視察。
- 3月8日、ゲレ大統領はジブチの国際女性デーを祝う式典を主宰。同式典は、ジブチ女性全国連合 (UNFD) の本部で開催された。

【外政】

- 3月2日、第18回東アフリカ・パワープール加盟国エネルギー大臣会合に参加するため、ケニアの首都ナイロビを訪問しているヨニス・エネルギー大臣は、ケニアとタンザニア (アルーシャ変電所) 及びエチオピアを結ぶ400Kv送電相互接続線が敷設されているイシンヤ変電所を訪問。
- 3月10日、ゲレ大統領はアフリカ連合スーダン高等パネル議長のモハメド・イブン・シャンバス博士と会談し、スーダンの和平合意のために地域、大陸、国際、多国間レベルで行われている様々なイニシアチブの調整と同調を深めるための方法と手段について協議。同会談にはユスフ外務・国際協力大臣らも同席。
- 3月10日、ゲレ大統領はラマダンの到来にあたり、国民に祝意を表明。「全世界の目の前で、残虐行為、虐殺、人類史上最も悪質な犯罪の犠牲者となっているガザの兄弟姉妹」に対し思いを馳せ、「私たちは創造主、全能の神に、彼らの勇気と犠牲に報い、彼らの祖先の土地への不可侵の権利の回復を通じて、彼らに解放と栄光を与えてくださるよう祈る」と述べた。

【経済・開発】

- 3月6日、ゲレ大統領はジブチ・アイラ・グランド・ホテルの落成式に出席。同ホテルの建設には、6年の歳月と2億ドル以上の資金を要した。この建設に関わったのは、

当地のケンピンスキー・ホテル、バワディ・モール、ハラムスにある住宅地など、ジブチへの戦略的投資をいくつも手がけているUAEの民間経営者、チェイック・ナヘル氏である。

●3月10日、ヨニス・エネルギー大臣は、北部地域の Moulhoule を訪問し、グリーン水素プロジェクトの進捗状況を視察。地元代表者らとの会談では、地元のエネルギー需要を満たし、バブ・エル・マンデブ海峡を横断する船舶に燃料を供給するというプロジェクトの戦略的重要性を強調。その後、オボックにある太陽光発電所の建設現場を視察。1メガワットの電力を生産するために設計されたこの大規模なプロジェクトは、同地域のエネルギー・インフラ開発に対する政府のコミットメントを示している。

●3月11日、ヨニス・エネルギー大臣は、同省高官らとともにタジュラを訪れ、太陽光発電ミニ発電所及びジブチ電力公社（EDD）によるタジュラ太陽光発電所建設の進捗状況を視察。国際ソーラー連盟（ISA）の技術・資金援助を受けて設置されたソーラー冷蔵コンテナの落成式にも出席。

●3月12日、ヨニス・エネルギー大臣は、同省高官らとともにアルタで行われた太陽光発電を利用した冷凍プラントの落成式に出席し、同プラントの試運転を視察。

【軍事・治安】

●3月3日、ブルハン国防大臣は、Carten Breuer ドイツ連邦軍参謀総長の表敬を受けた。同表敬には、ザッカリア統合参謀総長、ハイケ・フラー駐ジブチ独大使も同席。

●3月9日、ブルハン国防相は、アルタ統合軍事学校（AMIA）で行われた大尉と専門職員の訓練コースの終了式に出席。ザッカリア・ジブチ軍統合参謀総長とともに、1年生から3年生の士官候補生で構成される部隊の閲兵を行った。

●3月13日、ユスフ外務・国際協力大臣は、EUNAVFOR ASPIDES の Vasileis Gryparis 司令官率いるハイレベル代表団の表敬を受けた。同表敬には、タベス駐ジブチEU大使も同席。ジブチにおける活動部隊の状況に重点を置き、今後の協力体制について協議。

●3月18日、ブルハン国防大臣はジブチ軍国際関係総局（DGR I）において、Ignacio Villanueva・EUNAVFOR ATALANTA 司令官の表敬を受けた。会談には、タベス駐ジブチEU大使やジブチ軍幹部が同席し、紅海における海上安全保障を強化するための現在の課題と協力の機会について意見交換を実施。

【日本関係】

●3月9日、原大使は、ジブチ・バドミントン連盟モハメド・カワラ・ブルハン会長、フクザワ中学校校長ら同席のもと、長崎県から寄付されたバドミントン器材を活用したフクザワ中学校における日ジブチスポーツ交流イベントに参加。

●3月10日、原大使はオマール労働大臣を表敬訪問し、二国間関係や今後の協力につ

いて意見交換を実施。

● 3月10日、原大使はバードン法務・刑務大臣を表敬訪問し、同省の優先課題等について意見交換を実施。

● 3月10日、ジブチ市内の東京広場において、JICA研修同窓会（ASS-JICA）主催による東日本大震災による犠牲者への追悼式が開催。ジブチ人JICA研修参加者や政府関係者、大使館、JICA、自衛隊海賊対処派遣部隊等が参加。金田JICAジブチ事務所長、原大使のスピーチ、南相馬市長からのメッセージを代読の後、震災の犠牲者に対して追悼の意を捧げた。

● 3月10日、旭日中綬賞を受章した、タバレク・モハメド・イスマエル農業・水・漁業・畜産・水産資源省大臣補佐官に対する叙勲伝達式を公邸にて執り行った。

● 3月12日、原大使はアミナ都市・都市計画・住宅大臣を表敬訪問し、ゴミ処理、排水システムの整備、都市交通、低所得者向け住宅の建設等について意見交換を実施。

● 3月13日、原大使はヨニス・エネルギー大臣を表敬訪問し、風力発電、太陽光発電、地熱発電及び浮体式洋上風力発電等の再生可能エネルギーを利用したエネルギー政策について意見交換を実施。

● 3月18日、原大使はアワレ農業・水・漁業・畜産・水産資源大臣を表敬訪問し、二国間の協力事業等について意見交換を実施。

● 3月18日、原大使は「ジブチ沿岸警備隊の海上国境の監視及び捜索救助活動の能力強化」プロジェクトのローンチング式典に参加。同プロジェクトにおいて日本はIMOに105万米ドルを拠出し、移民への人道支援及び海上国境監視能力の強化に充てられる。

● 3月24日、原大使はムナ女性・家族大臣を表敬訪問し、同省の優先課題、今後の協力の可能性について意見交換を実施。

● 3月25日、原大使はブルハン国防大臣への表敬訪問を実施。自衛隊拠点への受け入れ、日本・ジブチ間で合意した拠点の更なる活用について謝意を伝達し、安全保障分野における両国間関係の深化を歓迎。

● 3月25日、公邸においてロラン・ボイテ駐ジブチ仏軍司令官に対する統幕長感謝状及び第1級防衛協力章を拠点司令から授与。

● 3月26日、原大使はマリアム・デジタル経済・イノベーション担当大臣を表敬訪問し、ジブチ政府のデジタル化推進に向けた取組や今後の協力の可能性について意見交換を実施。

● 3月27日、原大使はカシーム地方分権担当大臣を表敬訪問し、地方開発計画や日本との協力の可能性について意見交換を実施。

● 3月31日、原大使はカミル・スポーツ担当長官を表敬訪問し、二国間関係や今後の協力の可能性について意見交換を実施。

（了）